

量子未来産業創出戦略

概要



令和5年4月14日

内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局

量子未来産業創出戦略について

- 量子未来社会ビジョンでは、量子技術によって実現すべきビジョンや目標を策定
- 本戦略は、ビジョン・目標を実現するための、量子技術の実用化・産業化に向けて、**重点的・優先的に取り組むべき取組**を取りまとめたもの
- 本報告書は“量子技術の実用化・産業化に向けた方針や実行計画を示した戦略”と位置づけ

研究

量子技術イノベーション戦略

(令和2年1月、令和4年4月改訂(技術ロードマップ))
量子技術の研究開発戦略

ビジョン

量子未来社会ビジョン

(令和4年4月)
社会変革に向けた戦略(未来ビジョン、目標等)



産業

量子未来産業創出戦略

(令和5年4月)
量子技術の実用化・産業化戦略



2030年目標

国内の量子技術の利用者を
1,000万人に



量子技術による生産額を
50兆円規模に



未来市場を切り拓く量子
ユニコーンベンチャー企業
を創出



実用化・産業化の主な課題と基本的対応方針

- 今後、量子技術の実用化・産業化を進める上での**主な課題**を整理
- 主な課題に対する**基本的対応方針**を設定

実用化・産業化の主な課題

量子活用の効果的なユースケースが少ない



量子技術に対するハードルが高い



将来の技術・市場が不透明で事業リスクが高い



スタートアップ・新事業の創出・成長の環境が不十分



産業人材が不足



3つの視点

■ Collaboration ■ Accessibility ■ Incubation

+ 加速(Acceleration)

基本的対応方針

ユースケースづくり支援

- ・経営者視点等で魅力のあるユースケースづくり支援
- ・量子技術の利活用による効果・性能指標設定



利用環境整備

- ・量子コンピュータ等の利用環境整備
- ・産業界への各種支援（教育プログラム、技術支援等）
- ・新規参入に関する情報提供 等



事業リスク対応

- ・複数の企業が共有できる設備整備
- ・協調領域での複数社の共創（共通部品等）
- ・基礎研究支援 等



スタートアップ等創出

- ・スタートアップ・新事業等の創出・支援（長期支援）
- ・起業人材育成
- ・ピッチコンテスト
- ・エコシステム形成等



産業人材育成

- ・産業等人材向けの教育プログラム
- ・産学官の人材交流・流動
- ・若年層向けの教育プログラム 等



基本的対応方針を踏まえ、量子技術の実用化・産業化に向けた取組を推進